

【日韓関係の深層】

「突破力」の尹錫悦大統領の実力と夫人リスク

前 川 恵 司

韓国の新大統領尹錫悦は、選挙戦当時から日本との関係改善を主張していた。当選後は、新韓国大使に日韓関係を研究している知日派学者、元韓国国立外交院長、尹徳敏を起用、日韓首脳会談の早期実現を図るなど、徴用工問題などの早期「解決」に積極的な姿勢を示している。だが、日本の社会はひややかだ。知人の医者

は、「あれだけ日本に言いたい放題だった韓国がいまさら。日本は一步も譲るべきでない。反日教育が続く限り、日韓関係の正常化は無理」と息巻いていた。やや極端でも、韓国に「うんざり派」の代表的な意見ではあるだろう。

一方で、尹政権支持派の韓国の実業家は、

「韓国がなんとか解決したいと言うと、日本は態度がでかくなって、『韓国は焦っているとか、韓国の方から日本が納得する解決法を持って来い』とか言い出す。やっぱり日本は……とむしろ反感が韓国では芽生えている」と教えてくれた。

日韓航空路線が再開されるようになって、両国大使館にはビザを求める行列との報道があったが、それは「韓流オタク」や「日本に寿司を食べにいきたい」レベルの話で、日韓社会の根底に流れる空気は3年前の夏の「日韓氷河期」からあまり改善されていないのが本当のところではないか。

韓国メディアの政治記者は、

「北朝鮮との関係改善一本槍だった文在寅政権との違いを示すためにも、尹政権は米日重視だ。韓国の検事が職務上参考にするのは、日米独の事例でもあり、尹錫悦の父が一橋大に留学していたことなどで、尹錫悦は日本に好印象を持っている。日韓関係を改善するうえでポイン

トになる政権だ」と指摘する。

優先順位低い日韓関係

いまの日韓双方にとって日韓関係に過去のよ

うな重みがないことも事実。先の政治記者は、「尹錫悦にとって最重要課題は、2024年の総選挙で勝利し、国会300議席のうち共に民主党が169議席の現状を逆転すること。今の韓国経済はコロナやウクライナ戦争の影響をもらに受け、先行きが不安だが、検事だった尹錫悦は経済に疎い。経済のかじ取りが総選挙の勝敗を左右するから、尹政権の優先課題はまず経済対策。文在寅政権への断罪も世論の動向を睨みながら進めるだろう」としたうえで、

「日韓関係の優先順位はそれほどではない」と、説明する。

ところで、国会議員の経験さえない「ゼロ選政治家」（韓国メディアの表現）尹錫悦の今年3月の大統領選挙当選時の得票率48.56%。破れた当時の与党「共に民主党」李在明47.83%。得票差はわずか0.73%。投票日直前に保守系候補の一本化が実現しており、本来なら4.5%の差がついてもおかしくなかった。

この僅差は何を意味しているのだろうか。

まず、北朝鮮主体思想派とのつながりを指摘される左派候補の善戦は、文在寅政権の「ネロナンブル（「自分がやればロマンス、他人がやれば不倫」）体質への批判は強かったもの、建国以来の国内左派勢力はなお強固であることを示したといえる。

さらに文政権下での「草の根利権」の広がりも見える。

韓国で政権が関与できるポストは地方レベルまで含めれば、3万前後あるといわれている。

「月刊中央」20年4月号は、韓国鉄道公社の駅売店などの運営会社の年俸約170万円の非常任理事の一人が、文在寅選対の外郭団体のメンバーで、文在寅支持サイトの運営者だと報じ、左派草の根利権の一端を明らかにした。

文政権下では、左派系市民団体は補助金や助成措置で潤った。ソウルの主婦の一人は

「私の趣味の市民サークルでも、市の公認を受けると、視察などの名目で申請して親睦旅行ができるようになった」

と教えてくれた。左派市長だった朴元淳（セクハラ事件で自殺）の補助金行政の一端だが、市民をターゲットにした左派の草の根利権構造が、共に民主党候補の李在明の粘り腰の善戦をもたらした面があったかも知れない。

同時に、「国民の力」運動員の一人は、こうもらした。

「尹錫悦は、文在寅による朴槿恵弾劾の一等君臣。私らにすれば、本当は気に入らないが、政権を変えるための次善の選択で選んだ候補者だからね。仕方がない」

「国民の力」選対本部は、選挙戦でごたごた続きだった。昨年暮れには、36才の「国民の力」党代表李俊錫が常任選対委員長を辞任。正月明けには総括選挙対策委員長も辞任した。尹親衛隊議員と選対幹部との確執や、尹自身の対立を辞さない性格がからんでいると韓国政界では言われた。

おさらいをすれば、大統領尹錫悦を生んだのは、すでに承知の通り「帝王型」の朴槿恵と文在寅だ。

尹錫悦は朴政権下、2012年大統領選挙当時の国情院世論誘導事件の捜査で、国情院長を在宅起訴、政権と対立、地検支部長から地方高検の平検事に左遷された。

しかし、2016年秋からの崔順実国政介入事件でソウルに呼び戻され、捜査を指揮、文政権下で元大統領李明博を逮捕。2019年7月に検察総長に抜擢されたが、有力な文在寅後継者、法務大臣曹国一家疑惑を徹底追及して、刃が自分たちに向かって来るのを恐れた政権中枢と対立、

尹錫悦派の検事は、文在寅政権の「検察大虐殺」人事で左遷された。

その渦中の2020年1月、世界日報創刊31周年「次期大統領適格者」世論調査で尹錫悦は「共に民主党」前首相李洛淵（32.2%）に次ぐ2位（10.8%）に躍り出て、韓国政界を驚かせ、昨年3月に検察総長を辞任した。

1960年生まれの尹錫悦は、韓国左派勢力の中核層である「60年代生まれで80年代に民主化運動を推進」した「386世代」の一人だ。

ソウル大法学部時代に、模擬裁判の検事役で、「全斗煥死刑」を求刑し、韓国東海岸の山寺に身を隠したことがあるが、国情院筋では「尹錫悦の学生運動歴は、はしかにかかった程度。北朝鮮や北朝鮮支持の日本の民族団体などのつながりはない」と語る。

ところで、その全斗煥と民主化後初代大統領盧泰愚は、陸士同期の親友同士だったが、「休暇に全斗煥は部下を引き連れて酒を飲み回り、盧泰愚は部屋で軍服にアイロンをかけていた」と語られるほど性格は大違いだった。

尹錫悦は全斗煥タイプの方で、友人の葬儀には3日間（韓国の葬儀は通常3日間）葬儀場に残り、棺を担ぐ。韓国マスコミは、尹錫悦は「情の人」と評している。

「検察大虐殺」人事で左遷された検事もほとんど辞職しなかった。尹錫悦師団の団結力の強さが分かる。

数学の証明問題が得意の新大統領

就任後初の大型選挙となった6月1日の統一地方選では、17主要自治体首長選挙の得票率で、国民の力53.97%。共に民主党43.95%。10ポイント強の差をつけ、尹政権支持が当選時より広がったことを示した。

支持急拡大の主因は、「共に民主党」の反対を押しつけて青瓦台（大統領府）の移転、開放をやったのけた突破力だ。

余談だが、青瓦台のルーツは韓国ではあまり知られていない。元々が朝鮮王朝正宮に、支配者日本の威光を見せつけるために建てた朝鮮総督官邸だったからだ。官邸を名前だけ「景武

台」と変え、大統領府にしたのが、韓国の反日潮流を決定づけた初代大統領李承晩だ。日本支配の象徴を新生韓国の権威の象徴にしたのは、権威主義者李承晩が、威風堂々とした官邸の造りをとても気に入ったからだろうと私は推測している。

李承晩が亡命後に、景武台は「青瓦台」と名を変えた（1960年）。現在の新青瓦台が竣工し（1991年）、金泳三政権下で元朝鮮総督府官邸は取り壊された。

それはともかく、5月11日の就任式の日から開放された青瓦台は、6月22日に見学者が百万人を突破。青瓦台解放の経済効果は2百億円（韓国文化観光研究院）との試算も発表され、ソウルに世界的「新観光地誕生」と国民を大喜びさせている。

大統領府を国防部庁舎内に移転した尹錫悦は、職務室に入る前に、即席記者会見を始めた。日本や米国では当たり前だが、韓国ではこれまで大統領記者会見は年に2、3回あるかどうか。それも数人の記者がお伺いする「大統領儀典」の趣だった。即席会見風景も好感を呼び、支持拡大の要因になった。

尹錫悦は学生時代、数学の証明問題が得意だった。何時間もかけて定石でない解法に挑戦していた（「月刊朝鮮」2019年11月号）。

尹政権の初代首相は、左派盧武鉉政権での首相経験者韓恵洙だ。文政権下の現職首相金富謙が尹政権でも続投説が流れたこともある。「与小野大」の国会では、誰を新首相候補にしても同意を得るのは難しい。それならいっそ、と文政権下の首相続投案を考えたのだ。金富謙案はつぶれたが、韓恵洙案に共に民主党は反対できなかった。

尹錫悦の「下剋上」や「突破力」、人事の奇策は数学的熟考の末かもしれない。数学好きの韓国大統領は史上初。日本が留意しておく一つだろう。

尹錫悦支持者が抱える内憂外患

しかし、最近では政権不支持が支持を上回る低空飛行ぶりだ。朴槿恵弾劾のよる保守層の亀裂

は深く、なお治癒していないことが直結している。党内尹支持勢力は、元大統領李明博系に偏っている。

政治記者は、「これまでは若い党代表、李俊錫の存在が20代男性の尹錫悦支持に結びついてきた。ところが、当選後の尹錫悦は李俊錫を小ばかにしている風だ。政治家は権力になびくけど、世間は違う。若い支持者が離れてしまった」と分析、尹錫悦の尊大さが今後抱えるリスクのひとつとした。

さらに大きなリスクが、尹錫悦より12才若い夫人「金建希リスク」だ。先の政治部記者は、こう続けた。

「大学卒業後、現在経営する文化イベント企画会社で成功するまでの歩みが不透明だ。隠された人脈の存在も取り沙汰されていて、朴槿恵政権下の崔順実リスクに近い」

「国民の力」運動員は、

「彼女は選挙戦の渦中で株操作事件に関わっている疑惑や虚偽学歴、論文盗作問題が飛び出し、夫が当選しても政治にはかかわらず、内助の功に徹すると謝罪した。ところが、当選後は、政府系新聞とインタビューはするわ、どういう意味か分からないが、歴代大統領夫人の家を表敬訪問するわ、ドイツへの初外遊にもついていくわと、私がファーストレディよと誇示する行動を続けている」

と、不安げに語る。

歴代大統領夫人のうち、国民の評価が厳しかったのは全斗煥夫人。幼稚園児に

「私が大統領夫人よ」

と喋ってのけ、公式行事で全斗煥の前を歩いて国民のひんしゆくをかった。韓国のインターネットサイトでは、金建希の高校時代などと現在の容姿を並べた写真が出回っている。先の運動員は、

「韓国は整形に鷹揚な社会だが、元々の容貌が分からないほどとなると、二面性のある人と見なされることも多い。夫の力になりたいのなら、頼むから家にじっとして私らの気持ち」と顔をしかめた。（敬称略）

（まえかわ けいじ・ジャーナリスト）